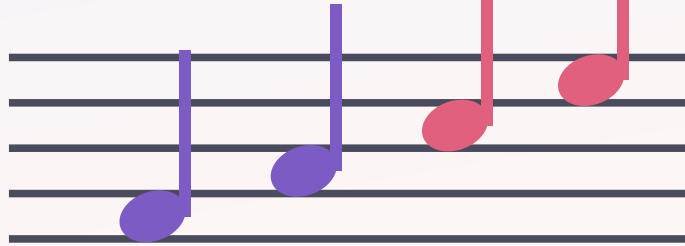


ドンドン、ヒュルヒュル♪



祭りが待ち遠しいな

音楽と地域のお祭り

太鼓や笛の音が、まちを元気にする



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

祭りと音楽	3～9
祭りを支える人々	10～15
祭りにかかわる	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

祭りと音楽

お祭りには、いつも音楽の音が鳴りひびいています。

日本各地のお祭りでは、太鼓・笛・かけ声など、いろいろな音が鳴りひびきます。

祭りの音楽は、その土地に古くから伝わってきたものです。

祭りの音を聞くと、季節の行事が近づいたことを感じる人も多くいます。



ポイント

- 祭りの音楽は、神さまへの感謝や願いから生まれたものが多いです。
- 太鼓の音は遠くまで届くため、祭りの始まりを知らせる役目もあります。
- 地域によって、使う楽器やリズムがちがいます。

やってみよう

1. 近くの地域のお祭りに行ったことはありますか。どんな音楽が鳴っていましたか。

ワンポイント 祭りの音楽は、その土地の歴史や暮らしを知る手がかりにもなります。

書いて覚えよう

祭りばやし

祭りばやしは、太鼓や笛でにぎやかに演奏される音楽です。

祭りばやし

matsuri-bayashi

祭りで演奏される、にぎやかな音楽

囃子 (はやし)

hayashi

楽器で演奏を盛り上げること

祭りばやしのリズム例



太鼓のリズムがくり返され、祭りの雰囲気を盛り上げます。

やってみよう

1. 上のリズムを、手拍子でくり返し練習してみよう。

書いて覚えよう

神輿と音楽

神輿（みこし）をかつぐときにも、音楽やかけ声が欠かせません。

神輿（みこし）

mikoshi

神さまが乗るとされる、かつぎ運ぶための輿

鳴り物（なりもの）

narimono

祭りで使う打楽器や鐘などの楽器

ポイント

- 神輿をかつぐ人たちの足並みをそろえるために、太鼓やかけ声が使われます。
- 鐘や鈴の音が、神輿の動きに合わせて鳴らされることもあります。

やってみよう

1. 神輿を見たり、かついだりしたことはありますか。

書いて覚えよう

盆踊りは、みんなで輪になって踊る夏の行事です。

- 盆踊りは、夏に先祖をむかえ、送り出す行事として各地で行われています。
- 太鼓のリズムに合わせて、決まった振り付けで輪になって踊ります。
- 地域によって、曲も振り付けもさまざまです。



うん、太鼓を囲んで輪になって踊るのが楽しいんだ。

1. 盆踊りを見たり、踊ったりしたことはありますか。

地域の民謡

民謡は、その土地の暮らしから生まれた歌です。

民謡 (みんよう)

folk song

その土地に古くから伝わる歌

節 (ふし)

melody

民謡などのメロディの言い方

ポイント

- 田植えや漁など、仕事のときに歌われてきた民謡もあります。
- 地域ごとに、言葉づかいやメロディの特徴がちがいます。
- 祭りの中で、民謡が歌いつがれていることもあります。

やってみよう

1. あなたの地域に伝わる民謡を知っていますか。

書いて覚えよう

太鼓と笛は、祭りの音楽で中心となる楽器です。

8

かけ声も、祭りの音楽の大切な一部です。

かけ声は地域によってさまざまです。太鼓や笛と一緒に、祭りを盛り上げます。

祭りの準備と練習・子どもの役割

祭りは、多くの人の準備と練習に支えられています。

ポイント

- 祭りの前には、太鼓や笛の練習が何週間も前から行われます。
- 衣装や道具の準備、会場づくりなど、多くの作業があります。
- 子どもも、小さな太鼓を担当したり、かけ声を担当したりと、大切な役割をもちます。



Ken

ぼくの町では、子どもも子ども神輿をかつぐんだ。

Emma

小さいころから参加できるのは、いい経験になりそうだね。



やってみよう

1. もし祭りの準備を手伝うなら、どんな役割をしたいと思いますか。

書いて覚えよう

- おじいさん・おばあさんの世代から、子どもへと太鼓の打ち方が伝えられます。
- 口伝え・体で覚えるという方法で、楽譜がなくても受けつがれてきました。
- 世代をこえて一緒に演奏することが、地域のつながりを強くします。

1. 家族や地域の人から、音楽や踊りを教わったことはありますか。

日本には、音楽が印象的なお祭りがたくさんあります。

日本には、音楽が印象的なお祭りがたくさんあります。

祇園囃子が有名な京都の祭り

太鼓とかけ声が力強い青森の祭り

三味線や太鼓に合わせて踊る徳島の祭
り

鳴子を鳴らしながら踊る高知の祭り

住んでいる地域に伝わる祭り

文化祭や体育祭の音楽

- それぞれの祭りに、その土地ならではの楽器や音楽のスタイルがあります。
- 全国のいろいろな祭りを知ると、日本の音楽の多様さが見えてきます。

1. 行ってみたい祭りはありますか。

- 同じリズムをくり返すことで、盛り上がりが続きます。
- 大人数で演奏しても合わせやすいよう、シンプルな型が多くあります。
- 録音や楽譜より、体で覚えて受けつぐことが中心になっています。

1. 祭りの音楽と、ふだん聴く音楽のちがいを1つ書いてみよう。

祭りを守る人たち

祭りは、多くの人たちの努力で守り続けられています。

保存会

祭りの音楽や踊りを伝える組織

地域の大人

練習を教え、行事を運営する

若い世代

受けついで、次に伝えていく

行政

お祭りの運営を支える

観光の人

遠くから訪れ、応援する

地元のお店

祭りの準備を手伝う

ポイント

- 祭りを続けるには、多くの人の協力と時間が必要です。
- 参加する人が減ると、祭りを続けるのが難しくなることもあります。

やってみよう

1. 祭りを続けるために、自分にできそうなことはありますか。

書いて覚えよう

祭りの記録

祭りの音楽を、記録に残す取り組みもあります。

ポイント

- 動画や音声で、祭りばやしを記録に残す取り組みが行われています。
- 記録があると、演奏の仕方を後の世代に伝えやすくなります。
- 写真や文章で、祭りの様子を残すことも大切な記録です。

やってみよう

1. もし祭りを記録するなら、何を記録したいですか。

書いて覚えよう

練習して祭りの音楽を演奏する

力を合わせて町を練り歩く

盆踊りなどで輪の中に入る

準備や片づけを手伝う

見て、かけ声で盛り上げる

様子を記録して伝える

- 参加の仕方は、演奏だけではありません。応援も立派な参加です。
- 安全に気をつけながら、無理のない形で楽しみましょう。

1. 今度お祭りがあったら、どんな形で参加してみたいですか。

地域の祭りを調べる・祭りを紹介する

地域の祭りについて調べて、人に紹介してみましょう。

祭りの名前

行われる季節

使われる楽器

特徴のある動きや
音

紹介したいポイント

Ken の例

祭りの名前 町内の夏祭り／季節 8月／楽器 太鼓・笛／特徴 子ども神輿とかけ声／紹介ポイント 世代をこえてみんなで盛り上がる場所

ポイント

- 家族や近所の人に聞くと、地域の祭りの由来がわかることがあります。
- 調べたことを紹介すると、祭りへの興味がさらに深まります。

書いて覚えよう

祭りのこれから

祭りの音楽を、これからも受けついでいくには何が必要でしょうか。

ポイント

- 祭りに参加する人が減ると、音楽や踊りを受けつぐ人も減ってしまいます。
- 子どもや若い世代が楽しく参加できる工夫が、続けていく力になります。
- 動画などの記録も、受けついでいくための助けになります。

やってみよう

1. 祭りの音楽を残していくために、できることを1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

ポイント

- 祭りの音楽は、太鼓・笛・かけ声などが組み合わさってできています。
- 祭りは、多くの人の準備と協力によって受けつがれています。
- 参加の形はさまざまで、見る・演奏する・応援するどれも大切です。

音

太鼓・笛・かけ声

人

地域の大人と子ども

未来

受けつぎ、記録し、参加する

書いて覚えよう

20

実際にやってみよう・みんなで練習

祭りばやしのリズムを、みんなで合わせてみましょう。

- A (太鼓のリズムをたたく) ドン・ドン・カカ・ドン
- B (まねしてたたく) _____
- A (「わっしょい」とかけ声をかける)
- B (合わせてかけ声を返す) _____
- A (新しいリズムをたたく)
- B (まねしてたたく)

ポイント

- A がリズムやかけ声を出し、B がまねをする遊びです。
- 声とリズムを合わせる楽しさを、体で感じてみましょう。

ワンポイント 大きな声やリズムを出すときは、周りの人への配慮も忘れずに。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

リズムがそろわない

テンポが速くなりがち

かけ声が小さい

はずかしくて声が出ない

コツ

こうしてみよう

ゆっくりから練習する

慣れてから速くする

みんなで声をそろえる

1人より合わせやすくなる

ポイント

- ゆっくり練習してから、少しずつ速くするとそろいやすくなります。
- みんなで声を出すと、1人のときよりははずかしさが減ります。

やってみよう

1. あなたがつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

祭りの音楽

☐ 祭りばやし

祭りで演奏されるにぎやかな音楽

☐ 囃子

楽器で演奏を盛り上げること

☐ 鳴り物

祭りで使う打楽器や鐘

行事の言葉

☐ 神輿

神さまが乗るとされる輿

☐ 盆踊り

夏に輪になって踊る行事

☐ 民謡

土地に伝わる歌

人の言葉

☐ 保存会

祭りを伝える組織

☐ 世代をこえる

大人から子どもへ受けつぐこと

☐ かけ声

力を合わせるための声

伝える言葉

☐ 節（ふし）

民謡などのメロディ

☐ 受けつぐ

次の世代に伝えていくこと

☐ 記録

動画や文章で残すこと

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。地域の祭りに、もっと興味がわいてきます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-------|---|----------------------|
| 祭りばやし | ● | ● ア. 夏に輪になって踊る行事 |
| 神輿 | ● | ● イ. 土地に伝わる歌 |
| 盆踊り | ● | ● ウ. 祭りを伝える組織 |
| 民謡 | ● | ● エ. 祭りで演奏されるにぎやかな音楽 |
| 保存会 | ● | ● オ. 神さまが乗るとされる輿 |

2. 祭りの音楽でよく使われる音を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 祭りで演奏されるにぎやかな音楽 → (祭りばやし / 民謡)
2. 神さまが乗るとされる輿 → (神輿 / 鳴り物)

書いて覚えよう

書いて覚えよう

地域の祭りの動画を1つ見る

祭りのリズムを頭の中で思い出す

手拍子で祭りばやしのリズムをたたく

家族に祭りの思い出を聞く

調べたことをノートに書く

地域のお祭り情報を調べる

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 地域の行事のお知らせにも、目を向けてみましょう。

発表してみよう・感想を書こう

調べた祭りの音楽を、人に伝えてみよう。

祭りの名前

地域

使われる楽器

印象に残ったこと

紹介したい人

Emma の例

祭りの名前 地元の秋祭り／地域 近所の神社／楽器 太鼓・鉦／印象に残ったこと 子どもたちが太鼓をたたいていた／紹介したい人 クラスの友だち

感想を3文で書こう

① この祭りの音楽は、～な感じがしました。② とくに、～が印象に残りました。③ それは、～からです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

祭りと音楽の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

地域の祭りの本を調べる

祭りへ

実際に足を運んで音を体感する

動画で

各地の祭りばやしを見くらべる

次のステップ

日本の音楽の歴史

祭りの音楽のルーツを知る

楽器の紹介

太鼓や笛をくわしく知る

音楽と社会

音楽と地域のつながりを知る

ポイント

- この教材の次は「音楽の仕事」。音楽にかかわるさまざまな仕事を学んでいきます。

書いて覚えよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

3. これから挑戦してみたいことは？

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

音楽と地域のお祭りチャレンジ

地域の祭りの音楽を、あらためて感じてみよう。

調べよう

地域の祭りの**楽器**を1つ調べる

聴こう

祭りばやしの動画を**1本**見る

伝えよう

祭りの魅力を家族に**紹介**する

こたえ

L26 祭りばやし→エ 神輿→オ 盆踊り→ア 民謡→イ 保存会→ウ
2. 太鼓 / 笛 / かけ声 3. 祭りばやし / 神輿

L33 (例) 祭りの音楽は、太鼓や笛、かけ声からなり、地域の人々によって受けつがれている。

書いて覚えよう

音楽と地域のお祭り (Season 9 | No.85)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。